

メッセージ・三

# 細野豪志

政治の役割は、天下国家を論じることでも大事です。しかし、国民の視点、地域の視点に立った、実質的な議論、建設的な議論を積み重ねることが、熟議の民主主義につながると考えています。私たち青年にとっては、

今日のような変化が多い時代は、チャンスなのです。活躍できる機会に恵まれ、意見を述べることもできるのです。もちろん失敗するケースもあると思いますが、チャンスに変えられる可能性を秘めています。それを忘れてはいけなし、活力につなげるべきです。

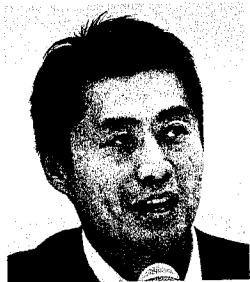
政治の役割は、天下国家を論じることでも大事だけでも、いろいろな各層、各界の人から話を聞くというのがとても大事なことです。政権が交代し私たちも与党になつて、政権を運営するいろいろな難しさを感じているところです。自民党は野党になり、どのように政策を作り直すのか、もう一度国民政党として生まれ変われるのか、互いに新しいチャレンジです。賛成反対を超えて建設的な議論を重ねていくことが、本来の姿、「熟議の民主主義」です。

民主党政権がすべてを解決するとは思えませんが、少なくとも政策の方向性として、人口が増加をする時代の社会のあり方から減少する時代へ、社会全体がモデルチェンジを図らなければならないと考えています。

今回の選挙で政権が交代しました。有権者の選択、意思が動かしたのです。若い人にはものすごくインパクトがあつたと思います。やはり政治を動かす最低限のスタートは「参加をする」こと。若い人たちに政治に関心を

持つてもらうために、繰り返し繰り返し対話を重ね、政策だけでなく生き方や考え方も含めてぶつけ合っていくことが必要です。

変化が多い時代はチャンスも多いと思います。昭和から平成に入り政治が動き出し、今まさに活躍できるチャンスが到来しています。若い世代だからこそ、変化をチャンスに変えられる可能性を秘めているのです。それを忘れてはいけなし、そういう思いで若い世代が生きることができるのが、日本全体の活力になると思います。



細野豪志

1971年生まれ。京都大学法学部卒。三和総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)研究員、主に経済政策・通商政策の立案に携わる。2000年、衆院総選挙静岡7区で初当選。現在、民主党副幹事長、民主党組織委員長兼企業団体委員長。三島青年会議所の現役メンバーでもある。